



たてばやし 移住ガイド

東京から近くてゆとりある生活を満喫できる
群馬県館林市。

「自然との共生」を楽しみながら、
充実した「たてばやし暮らし」を迎えてみませんか？

TATEBAYASHI

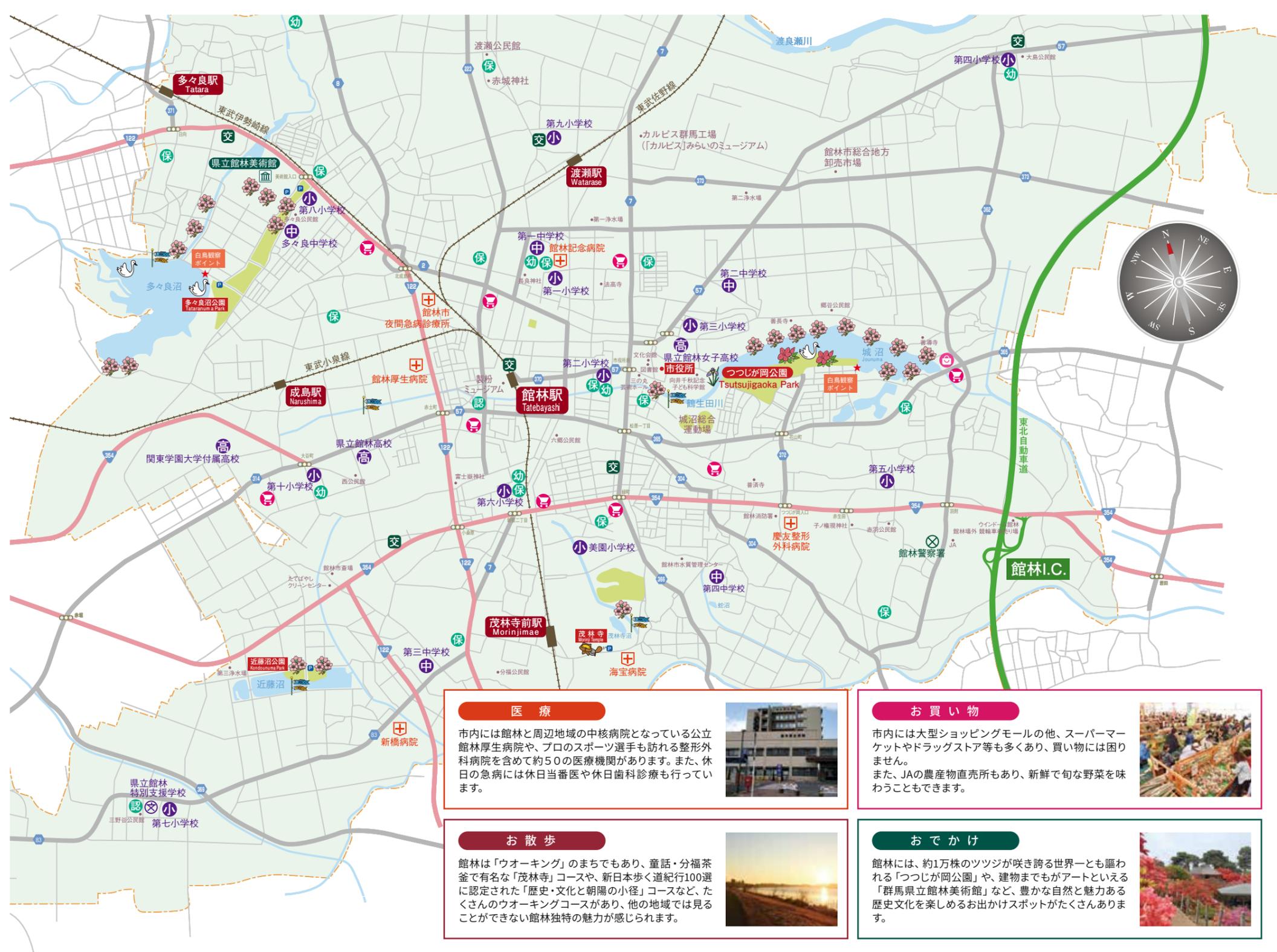


たてばやしを知る



館林は東京から特急電車を使って1時間ほどの位置にあり、東京圏への通勤や休日のお出かけも気軽に行けます。

また、群馬県というと山に囲まれた地域をイメージする人も多いかもしれませんが、館林は平地にあり、5つの沼が点在する自然豊かな場所です。さらに、館林の年間平均気温は14.9℃で、東京の15.4℃とほとんど変わらず暮らしやすいところです。



| | | | |
|-------|-----------|--------|-------|
| 国道 | 警察署 | 幼稚園 | つつじ |
| 県道 | 交番 | 保育園 | さくら |
| その他道路 | 病院 | 認定こども園 | 花菖蒲 |
| 高速道路 | スーパー | 小学校 | こいのぼり |
| 鉄道 | ショッピングモール | 中学校 | 白鳥 |
| 川・沼 | | 高校 | |
| 緑地・公園 | | その他学校 | |

医療

市内には館林と周辺地域の中核病院となっている公立館林厚生病院や、プロのスポーツ選手も訪れる整形外科病院を含めて約50の医療機関があります。また、休日の急病には休日当番医や休日歯科診療も行っています。



お買い物

市内には大型ショッピングモールの他、スーパーマーケットやドラッグストア等も多くあり、買い物には困りません。また、JAの農産物直売所もあり、新鮮で旬な野菜を味わうこともできます。



お散歩

館林は「ウォーキング」のまちでもあり、童話・分福茶釜で有名な「茂林寺」コースや、新日本歩道道紀行100選に認定された「歴史・文化と朝陽の小径」コースなど、たくさんのウォーキングコースがあり、他の地域では見ることができない館林独特の魅力が感じられます。



おでかけ

館林には、約1万株のツツジが咲き誇る世界一とも謳われる「つつじが岡公園」や、建物までもがアートといえる「群馬県立館林美術館」など、豊かな自然と魅力ある歴史文化を楽しめるお出かけスポットがたくさんあります。



日本遺産「里沼」のまち



館林市内には、多くの沼があります。これらの沼は古くから人々の暮らしと深く結び付き、人が沼辺を生かすことで良好な環境が保たれ、文化が育まれてきました。

この沼々と館林の人々が共生した歴史・文化、暮らしを「里沼」と呼び、令和元年には、文化庁から「里沼 (SATO-NUMA) - 「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化-」として、日本遺産にも認定されました。

茂林寺沼 ～祈りの沼～

市の南部にある沼で、周囲には低湿地湿原が広がり、貴重な水生動植物などが息する豊かな自然環境を残しています。また、沼の畔には童話・文福茶釜で有名な古刹「茂林寺」があります。



多々良沼 ～実りの沼～

市の北西部にある沼で、平安期に行われた踏鞴(たたら)製鉄から名付けられたとされています。また沼の水を利用して、麦の生産が行われ、麦を使っとうどんなどの名産品が生まれました。周辺には「館林美術館」があるほか、富士山や夕陽のスポットになっています。



城沼 ～守りの沼～

市の中央部にある沼で、近世館林城築城時には「天然の要害」となりました。南岸には国指定名勝「躑躅ヶ岡」があり、春はツツジ、夏は花ハス遊覧などを楽しむことができます。





館林は、育児や教育支援だけでなく、妊娠中から出産後の家族へのケアも充実しています。

市内には公立、私立合わせて14の保育園と、6つの幼稚園、2つの認定こども園があります。また、小・中学校に3人以上お子さんがいる場合は、第3子以降の学校給食費が無料となります。



館林では様々な角度から子どもたちを

地域で **支** え、学びの **多** 様性と **個** 性を
尊重する教育を行っています。



産前産後の支援

妊婦、新生児訪問

妊娠中と出産後に保健師、助産師、看護師が自宅を訪問し、妊娠中・育児期の相談にのったり、利用できるサービスの案内をしています。



産前産後サポーター派遣

妊娠中から産後4か月未満の家庭を対象に、食事の準備や洗濯、掃除等の家事をお手伝いする有料のサービスです。



産後ケア

産後3か月未満の方を対象に、助産師による心身のケアや休養等の支援を行う有料のサービスです。



ママパパ学級

これから赤ちゃんを産み育てるお母さんお父さんを対象に、赤ちゃんを元気に育てていくため、さらにはネットワークづくりのためにママパパ学級を開催しています。



子どもたちを地域で支える教育

コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会制度を導入した学校で、市内の全小・中学校が指定されています。地域の皆さんの声を学校運営に反映させながら、地域と学校がいっしょに子どもたちを育むシステムです。地域と学校が教育について共通のビジョンを持ち、課題を共有しながら、独自の教育や活動を行っています。



「英語村」プロジェクト

子どもたちが積極的に英語でコミュニケーションできる力を育てるために、ALTとのふれあいや校外外で楽しめるイベントなど、様々な体験活動を展開します。



オンライン学習

オンラインによる家庭学習支援ソフトとして「スタディサプリ」を導入しています。学校から配信される宿題や、自分の苦手な分野の復習に効率よく取り組むことができます。



子育て支援

ぽんちゃん子育てナビ



スマートフォン等から登録を行うと、妊娠中は妊婦健診の予定、出産後は赤ちゃんの予防接種や乳幼児健診の情報を確認できるサービスです。特に予防接種については、自動でスケジュール管理ができるので、忙しい子育て家族の強い味方になっています。



子ども医療費助成

中学校卒業までの子どもの医療費については、無料で病院にかかることができます。また、高校生には入院費の助成を行っています。



地域子育て支援センター

子育てに関する相談や情報交換、親子のふれあい遊び、利用者同士が交流する場を市内の5か所で提供しています。



ファミリー・サポート・センター

「育児のサポートを行いたいかた(まかせて会員)」と「育児サポートを受けたいかた(おねがい会員)」からなる会員組織です。アドバイザーにより、子どもの一時預かりや保育園への送迎など、会員同士で子育てを支え合う活動の連絡、管理や調整を行います。これにより、子育て中の家族を一時的・臨時的に地域の人が応援し、安心して子育てができるよう、地域での子育て支援に取り組みます。



こども誕生祝金

お子さんが生まれ、かつ、引き続き本市に在住する見込みのある家庭に、お祝いとして1万円分の金券(第3子以降の場合は金券に加えて10万円)を支給しています。



子どもたちの学びの多様性と個性を尊重する教育

幅広い進学の実選択肢

市内には公立中学校が5校あるほか、館林駅発着のスクールバスを利用して30分以内の場所に複数の私立中高一貫校等があります。

ふれあい学級

不登校状態の児童・生徒の悩みや不安を軽減するために、学校や保護者との連携を図りながら、一人ひとりに合わせた支援を行い、社会的自立を目指します。



館林ROCKETプロジェクト

個性が豊かなど本人の内面的な理由により、現状の環境になじめずに悩みを抱えている小・中学生を対象に、個性にあった学び(活動)の場を提供し、子どもたちが自立して生きていく力を養います。



仕事

地元企業ガイダンス

商工会議所やハローワークと協力し、館林と周辺地域の企業説明会を行っています。

館林の有効求人倍率は、令和4年4月現在で1.45倍と全国平均を上回る数値となっており、移住後の就職先もたくさんあります。

Uターン支援奨励金

Uターンして市内企業に就職したかたに、最大10万円の奨励金を支給しています。

創業支援事業

市内に移住して創業を考えているかたに、店舗設備費補助(上限200万円)や店舗PR補助・販路拡大補助等の補助制度をご用意しています。



群馬県立館林美術館

開館から20年を超えた、県立2館目の美術館です。「自然と人間」をテーマに作品を収集し、展覧会や教育普及活動を行っています。来館者に人気の高いフランソワ・ポンポンなどの彫刻作品を展示



するほか、館のテーマに沿った展覧会を年4回程度開催しています。ランドスケープと一体となった建築も見どころのひとつです。

宇宙よりも遠い場所



@YORIMO PARTNERS

館林市はテレビアニメ「宇宙(そら)よりも遠い場所(通称:よりもい)」の舞台の一つとなっています。現在、市ではアニメの主キャラクター4名を「館林アニメアンバサダー」に委嘱しており、アニメコンテンツを活用したまちのPRにも力を入れています。

通勤・通学



移住定住促進通勤支援金

特急、グリーン車を利用し東京圏へ通勤するかたへの支援です。東京圏に通勤を開始し、特急又はグリーン車を利用したかたへ、実費の1/2(月上限1万円)を支給しています。

定住促進通学支援金

東京都等(東京都又は東京都を経由する地域)に通学する大学・専門学校生等に、通学定期券の購入金額を補助(1年度上限2万円)しています。



チャレンジできる街、館林

リノベーション 物件紹介

築90年の看板建築をリノベーションした厨房付きシェアスペース「TATEBAYASHI PUBLIC HOUSE」



館林パブリックハウス(TPH)は、週1から始められる自分のお店。みんなの「やってみたい」を形にする創業支援の場所として利用されています。TPH運営:合同会社 三手家守社(みつでやもりしゃ)



シェアスペースを開業する際は、創業支援事業補助金を使用。本市では開業するかたへの支援制度を各種用意して新規起業をお待ちしています。



住まい

移住促進まちなか新築住宅取得支援金

市内のまちなかに新築住宅を取得したかたに最大で50万円の支援金を支給しています。

市有地活用移住定住支援金

市有地を購入して住宅を建設し定住したかたに、最大で60万円の支援金を支給しています。

市営住宅の紹介

市営住宅は、ご家族だけでなく、単身者や高齢者のかたも幅広く募集しています。

空き家利活用助成金

空き家バンクを利用し空き家を購入した場合は上限40万円、空き家を賃借した場合は1か月の家賃(最長12か月)の1/2(上限4万円)を助成しています。



移住コーディネーター



館林市移住コーディネーター 田沼ルミ子さん

Profile 2020年移住

東京都から館林に移住、夫と2人のご家族。現在は自然食品を中心に集めたセレクトショップ「bio market MARU」を起業し、マルシェなどを不定期で開催中。

市では、移住希望者のサポートを行うコーディネーターを設置しています。相談を希望される場合は、まずは市役所(企画課)へご連絡ください。

コーディネーターから皆様へ

館林への移住経験者として、移住前にしたことや移住後に感じたことなどを、実体験を踏まえて(良いことも、悪いことも)お伝えできたらと思っています。移住前は不安に思うことも多いと思いますが、少しでも皆さんが楽しく新しい生活をスタートさせることができるよう、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っています。

館林に移住を決めたきっかけ

長年、広告やエンターテインメント業界であただしく働いていたが、コロナ禍で人生を振り返ったとき、これからは大切な人と少しゆとりのある時間を過ごしたい、と考えるように。「結婚を機に夫の出身地である館林市に移住することを決めた。館林は東京にも近く、これまでの仕事でのつながりも絶やすことなく行き来できる。」と語ります。

